



平成30年
9月号

「プラザイムス」は、患者様、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。



スイカ割り開催！！

8月の行事は「スイカ割り」を行いました。

目隠しをして、周りの声を頼りにスイカに向かっていきます。「もっと右！」「そのまま真っ直ぐ」とたくさんのアドバイスが飛び交っていました。棒が見事にスイカに当たった際は、大きな歓声が上がっていました。

利用者さんからのリクエストで職員もスイカ割りに挑戦しました。職員の場合は、

目隠しをした後に10周ほど回ってから歩き出します。目が回ってしまい、ふらふらしながら危うく利用者さんに当りそうになるハプニングもありまし



たが、とっても盛り上がりました！この日のおやつはもちろんスイカです。猛暑が続いているため冷えたすいかは格別だったようです！

9月は待ちに待った「納涼祭」です。皆様が楽しめるよう、職員はやぐら作りや踊りの練習など、日々頑張っています！お楽しみに♪

作業療法士 上島 亜也



栄養科にとっておきレシピ

お月見のお話

お月見といえば「十五夜」の「満月」を思い浮かべます。十五夜とは本来は満月のことで、年に12回または13回めぐってきます。中でも旧暦の8月は1年の中で最も空が澄みわたり月が明るく美しいとされていたため、平安時代から観月の宴が開催され、江戸時代から収穫祭として広く親しまれるようになりました。

お月見ではお団子がよく飾られます。団子月を信仰の対承として、豊作の祈願と収穫の感謝をするので、お米を使って月に似せた団子を作って、お供えするようになったと言われています。

また、秋には里芋が収穫されますが、十五夜のお月見にはこの里芋をお供えする風習もあります。

最近では、お団子だけの場合が多いようですが、地域によっては、お団子を里芋に似せた形にしているところもあるようです。今月はちょっと一工夫のお団子をご紹介します！！

材料（4人分）

白玉粉 250g

絹豆腐（水気は切らずに） 1丁

冷凍かぼちゃ 2カット分

砂糖 大さじ2

お月見団子の作り方



- ① 冷凍かぼちゃはレンジで温めて柔らかくし、裏ごししてペースト状にしておく。
- ② 白玉粉に砂糖を入れる。
- ③ 豆腐を少しずつ加え1つにまとめながら捏ねていく。
- ④ まとまったお団子を3等分し、3分の2はそのままひと口大に丸

める。

⑤ 残りの生地にペースト状にしたかぼちゃを混ぜ、同じくひと口大に丸める。

⑥ 沸騰したお湯に入れ茹でる。

⑦ 浮いてきたら更に2分茹で、冷水で冷ます。

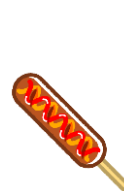
⑧ 水気を切りお皿に盛り付けたら完成です。

管理栄養士 鈴木真美



9月行事

・明和会納涼祭を9月8日に行いました！！
来月のてと手でご報告させていただきます！！



【編集後記】先日も大きな台風が日本を襲いました。皆様のご自宅付近は大丈夫でしたか？日本では台風の発生した順番で番号を付けていますが、実は固有の別名があるようです。日本の場合は「テンビン」「ウサギ」等星座の名前です。ウサギって…そんなかわいい台風なら良いのですが…。ウエストケアセンター広報委員会一同

発行元 介護老人保健施設ウエストケアセンター

発行年月日 平成三十年九月八日

〒192-0151 東京都八王子市上川町 2135

Tel:042(654)5511

Fax:042(654)7716

<http://www.ims.gr.jp/west-hp/>

ボランティアさん紹介

今回は書道でお世話になっている馬場さんをご紹介します！
きさくにお話して下さるとも素敵な方です！



以前は八王子市介護サービス訪問ふれあい員としてウエストケアセンターに来所され、明るく気さくで、どの方にも優しく接し何かあれば密になって相談等もされていらっしかったです。

現在は月2回の水曜日に書道の先生として来られます。「今日は先生来る日かな？早く来ないかな？」など、馬場さんの持参するお手本や赤丸の採点を楽しみにされているご利用者様も多くいらっします。

その他に、ご利用者様と一緒にやまゆり館祭りの書道作品の制作や、年末にカレンダー作成など共に地域貢献に努めていらっする方です。



また施設の納涼祭の参加や、上川地区のイベントサポート等もされており様々な方



面からも信頼をされていらっします。

今後も馬場さんと上川地区を盛り上げていく為にも、互いに協力して参りたいと考えております。

介護主任 遠藤 真寛

上川町民祭「神輿渡御」



担いできました…！！



平成30年8月19日（日）秋の澄んだ気候に包まれた中、町民祭が行われました。

上川東部町会より神輿の担ぎ手が減っており、若い人たちの力が必要との事で今年も神輿担ぎのお誘いを頂き、当施設の職員と子供・西八王子病院の職員総勢24名が神輿担ぎのお手伝いとして参加させて頂きました。



当日は子供神輿と大人神輿二手に分

かれ、上川東部町内から熊野神社まで2時間かけて町内を練り歩きました。今年は大勢の職員によるお手伝いもありましたが、やはり神輿の担ぐと方にずしりと重みがかかり、踏ん張って担がないと歩けないくらいでした。



担ぎ手から恒例の掛け声で「わっしょい」「よいしょ」「ハイッ・ハイッ ハイハイ」と元気な掛け声が飛び交いました。熊野神社では恒例の熊野太鼓が神輿を出迎えてくださり、神輿を届けることが出来ました。



葉

図り、地域
して参ります。

上川東部町会から「今年も無事に神輿を担げて良かったよ。また来年もお願いします」とのお言葉頂きました。今後も地域交流を
に愛され選ばれる施設を目指

支援相談員 久保 真一